



2026年2月6日

各 位

会社名 株式会社椿本チエイン
代表者名 代表取締役社長 木村 隆利
(コード番号 6371 東証 プライム)
問合せ先 経営企画室長 田村 武資
(TEL. 06-6441-0054)

上場廃止となった子会社（大同工業株式会社）に関する決算開示について

2026年1月1日をもって完全子会社化した、大同工業株式会社に関する2026年3月期第3四半期決算短信（2025年4月1日から2025年12月31日まで）について、別紙の通りお知らせいたします。

以 上

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月6日

会社名 大同工業株式会社

URL <https://www.did-daido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 CEO (氏名) 新家 啓史

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経営戦略本部長 (氏名) 野口 賢信 TEL 0761-72-1234

配当支払開始予定日 -

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	44,271	2.9	1,358	28.9	1,655	35.3	1,714	130.7
2025年3月期第3四半期	43,035	2.4	1,054	-	1,223	41.4	743	24.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,197百万円 (-%) 2025年3月期第3四半期 92百万円 (△97.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	169.02	-
2025年3月期第3四半期	72.53	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	80,945	38,643	40.6	3,239.00
2025年3月期	77,803	36,787	39.5	3,030.34

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 32,861百万円 2025年3月期 30,723百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 25.00	円 銭 25.00
2026年3月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 -	円 銭 -
2026年3月期(予想)					

(注) 当社は、2025年5月14日付で株式会社椿本チエインとの間で株式交換契約を締結しています。本株式交換による当社の完全子会社化に伴い、2025年12月29日付で当社株式が東京証券取引所を上場廃止となったため、2026年3月期の配当予想は記載しておりません。

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

当社は、2025年5月14日付で株式会社椿本チエインとの間で株式交換契約を締結しています。本株式交換による当社の完全子会社化に伴い、2025年12月29日付で当社株式が東京証券取引所を上場廃止となったため、2026年3月期の連結業績予想は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） |

2026年3月期3Q	10,156,104株	2025年3月期	10,924,201株
2026年3月期3Q	10,444株	2025年3月期	785,649株
2026年3月期3Q	10,142,836株	2025年3月期3Q	10,245,515株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、2025年5月14日開催の取締役会において、株式会社椿本チエインを株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換を行うことを決定し、同日付で株式交換契約を締結しております。また、2025年6月24日の定時株主総会において本株式交換契約の承認を受けたことにより、2025年12月29日をもって上場廃止となりました。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調にあるものの、物価や人件費の高騰に加え、原材料・エネルギー価格の高止まり、米国の通商政策の動向、中国経済の回復鈍化、中東・ウクライナ情勢の長期化などの影響により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は44,271百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は1,358百万円（前年同期比28.9%増）、経常利益は1,655百万円（前年同期比35.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,714百万円（前年同期比130.7%増）となりました。なお、使用見込みのない固定資産に係る減損損失333百万円および株式交換の実施に向けた関連手続に係る外部専門家への報酬（経営統合関連費用）531百万円を特別損失として計上し、一方で、当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより投資有価証券売却益1,362百万円を特別利益として計上しております。

セグメントの業績は、次のとおりあります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントを従来の地域を基礎としたセグメントから事業を基礎としたセグメントに変更しており、以下の前期比較については、前期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①二輪部品事業

外部顧客への売上高は24,313百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は2,021百万円（前年同期比65.4%増）となりました。日本および中国での完成車メーカー向け販売が好調に推移したことに加え、コスト上昇分の価格転嫁を継続的に進めたことが奏功し、売上・利益ともに前年同期を上回りました。

②自動車部品事業

外部顧客への売上高は3,849百万円（前年同期比6.0%減）、営業損失は192百万円（前年同期は23百万円の営業利益）となりました。日本および中国での自動車メーカー向け受注が低調に推移したことに加え、コスト上昇分の価格転嫁が遅れたこともあり、売上高は前年同期を下回り、営業損失に転じました。

③産機事業

外部顧客への売上高は9,858百万円（前年同期比0.8%減）、営業損失は579百万円（前年同期は402百万円の営業損失）となりました。タイでの搬送関連設備の受注が伸び悩んだことに加え、米国による対中関税強化の影響により中国製品が大量にブラジル市場へ流入した結果、市場価格が下落し、現地における価格競争が一段と激化しました。これらの影響により、売上・利益ともに前年同期を下回りました。

④その他

外部顧客への売上高は6,250百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は125百万円（前年同期比42.3%減）となりました。ハンズフリーモビリティ「UNI-ONE」の生産開始に伴う出荷増に加え、自動車メーカー向け輸出関連の鋼材加工が堅調に推移し、売上高は増加しました。一方、利益面では福祉機器・搬送機器の新商品等の開発に係る費用が増加したことから、営業利益は前年同期を下回りました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ、受取手形、売掛金及び契約資産が909百万円、棚卸資産が1,300百万円、投資有価証券が1,042百万円増加したことなどにより3,141百万円増加し、80,945百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末と比べ、借入金が665百万円、繰延税金負債が255百万円増加したことなどにより1,285百万円増加し、42,301百万円となりました。純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ、利益剰余金が855百万円、その他有価証券評価差額金が716百万円増加したことなどにより1,856百万円増加し、38,643百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2025年5月14日開催の取締役会において、株式会社椿本チエインを株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換を行うことを決定し、同日付で株式交換契約を締結しております。また、2025年6月24日の定時株主総会において本株式交換契約の承認を受けたことにより、2025年12月29日をもって上場廃止となりました。これに伴い、2026年3月期の連結業績予想は記載しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	8,711	8,135
受取手形、売掛金及び契約資産	12,283	13,193
商品及び製品	5,979	5,964
仕掛品	4,600	5,243
原材料及び貯蔵品	4,150	4,823
その他	2,112	2,248
貸倒引当金	△112	△168
流动資産合計	37,725	39,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,938	7,000
機械装置及び運搬具（純額）	8,526	8,464
土地	4,028	4,137
リース資産（純額）	478	396
建設仮勘定	1,307	1,750
その他（純額）	1,016	985
有形固定資産合計	22,295	22,734
無形固定資産		
ソフトウエア	209	199
その他	13	40
無形固定資産合計	222	240
投資その他の資産		
投資有価証券	16,715	17,758
繰延税金資産	324	335
その他	830	755
貸倒引当金	△349	△350
投資その他の資産合計	17,521	18,498
固定資産合計	40,039	41,473
繰延資産		
社債発行費	38	32
繰延資産合計	38	32
資産合計	77,803	80,945

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,687	7,519
短期借入金	5,451	7,424
リース債務	151	154
未払法人税等	250	333
契約負債	172	406
賞与引当金	524	368
役員賞与引当金	10	—
製品保証引当金	133	122
受注損失引当金	37	17
災害損失引当金	140	15
契約損失引当金	—	80
その他	3,092	3,678
流動負債合計	17,650	20,120
固定負債		
社債	5,700	5,700
長期借入金	12,182	10,874
リース債務	1,102	1,042
繰延税金負債	1,499	1,754
退職給付に係る負債	2,641	2,637
その他	240	171
固定負債合計	23,365	22,180
負債合計	41,016	42,301
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,536	3,536
資本剰余金	3,273	3,270
利益剰余金	15,105	15,960
自己株式	△622	△6
株主資本合計	21,292	22,760
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,825	6,542
為替換算調整勘定	3,157	3,140
退職給付に係る調整累計額	447	418
その他の包括利益累計額合計	9,430	10,101
非支配株主持分	6,064	5,781
純資産合計	36,787	38,643
負債純資産合計	77,803	80,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	43,035	44,271
売上原価	34,762	35,684
売上総利益	8,272	8,587
販売費及び一般管理費	7,218	7,228
営業利益	1,054	1,358
営業外収益		
受取利息	48	32
受取配当金	546	537
持分法による投資利益	126	157
その他	95	155
営業外収益合計	817	883
営業外費用		
支払利息	295	331
為替差損	247	126
その他	104	129
営業外費用合計	647	586
経常利益	1,223	1,655
特別利益		
固定資産売却益	10	3
投資有価証券売却益	—	1,362
災害損失引当金戻入額	—	76
特別利益合計	10	1,441
特別損失		
固定資産売却損	—	6
固定資産除却損	6	20
減損損失	—	333
災害による損失	24	—
経営統合関連費用	—	531
契約損失引当金繰入額	—	80
特別損失合計	30	972
税金等調整前四半期純利益	1,202	2,124
法人税、住民税及び事業税	449	582
法人税等調整額	55	△31
法人税等合計	504	550
四半期純利益	698	1,574
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△44	△139
親会社株主に帰属する四半期純利益	743	1,714

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	698	1,574
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,258	672
為替換算調整勘定	656	△76
退職給付に係る調整額	△17	△28
持分法適用会社に対する持分相当額	12	56
その他の包括利益合計	△606	623
四半期包括利益	92	2,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△177	2,384
非支配株主に係る四半期包括利益	269	△186

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,253百万円	2,384百万円

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	二輪部品 事業	自動車部品 事業	産機事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	23,099	4,095	9,940	37,134	5,900	43,035	—	43,035
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	1,686	1,686	△1,686	—
計	23,099	4,095	9,940	37,134	7,586	44,721	△1,686	43,035
セグメント利益又は損 失 (△)	1,222	23	△402	842	217	1,060	△6	1,054

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、福祉機器、石油製品、鋼材等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△6百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	二輪部品 事業	自動車部品 事業	産機事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,313	3,849	9,858	38,021	6,250	44,271	—	44,271
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	1,884	1,884	△1,884	—
計	24,313	3,849	9,858	38,021	8,134	46,156	△1,884	44,271
セグメント利益又は損 失 (△)	2,021	△192	△579	1,249	125	1,375	△16	1,358

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、福祉機器、石油製品、鋼材等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△16百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、「自動車部品事業」セグメントで減損損失を48百万円、報告セグメントに配分されていない減損損失を205百万円計上しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、当第1四半期連結累計期間より報告セグメントを従来の地域を基礎とした、「日本」、「アジア」、「北米」、「南米」及び「欧州」から、事業別の「二輪部品事業」、「自動車部品事業」、「産機事業」及び「その他」へ変更いたしました。この変更は、取締役会等での経営判断や損益管理、業績の把握・開示を事業単位で行うことが経営実態に即していると判断したためであります。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、区分変更後の報告セグメントの区分方法に基づき作成したものを開示しております。